

平成26年12月14日執行

三重県  
第五区

# 衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第1頁)

三重県選挙管理委員会

## 「三ツ矢のりお」の主張 地方創生 ふるさとのために!!



公認 自由民主党

# 三ツ矢のりお

(64歳)

真の地域代表として  
信頼と責任に応えます。

### ●経済成長

アベノミクスのさらなる前進、  
地方に活力を取り戻す  
「経済成長と地方創生」に  
全力を尽くします

### ●社会保障

未来にわたり、  
暮らしの安心を創ること  
持続的な社会保障制度を確立します

### ●復興と防災

南海トラフ巨大地震や  
津波等の自然災害・老朽化対策、  
さらなる防災・減災対策にとりくみます

### ●エネルギー

エネルギーのベストミックスの策定、  
安全を第一とした安定した  
供給構造の確立へ

### ●外交・安全保障

わが国の領土・国民に対する  
毅然とした外交・防衛による  
積極的平和政策

### ●国のあり方・教育・行政改革

良き日本の家族や  
地域の絆を守るとともに、  
子どもの健全な成長と  
安全の確保を目指します

#### プロフィール

昭和25年12月 三重県伊勢市に生まれる  
昭和44年3月 三重県立伊勢高等学校卒業  
昭和50年3月 東京大学教養学部卒業  
昭和50年4月 運輸省採用・航空局管理課国際課  
昭和53年5月 大臣官房人事課(米・コロンビア大学留学)  
昭和59年3月 鹿児島県企画部交通運輸課長  
平成4年1月 外務省在アメリカ合衆国日本大使館参事官  
平成8年6月 大臣官房文書課広報室長  
平成10年7月 中部国際空港企業部長  
平成14年7月 国土交通省大臣官房人事課長  
平成15年7月 国土交通省航空局監理部長  
平成15年9月 自由民主党三重県第五選挙区支部長  
平成17年9月 衆議院初当選  
平成17年9月 衆議院二期目当選  
平成20年8月 財務大臣政務官  
平成21年8月 衆議院三期目当選  
平成24年12月 衆議院四期目当選  
平成25年9月 第二次安倍内閣 外務副大臣  
平成26年11月 現在  
衆議院 外務委員会 筆頭理事  
自由民主党 副幹事長 等を歴任

## 新しい政治で活力ある日本を!!

政治家のパフォーマンスや一方通行の政治ではなく、まごころで政治に取り組みます。

### アベノミクスから庶民のための経済に転換する。

アベノミクスは一体誰が幸せになっているかわからない経済政策です。庶民には豊かさの実感や暮らしが改善したという実感はほとんどありません。アベノミクスを修正し、庶民のための政治経済をつくりあげます!

### 一強他弱の国会を変える。

今の国会は集団的自衛権の憲法解釈の変更などについて、ほとんど議論がなされず、国民の理解が得られないまま進められています。与野党が緊張感を持って国民の立場から議論ができる国会に変えていきます。

### 農林水産業と中小企業・小規模企業を再生させる。

地域経済を支える農林水産業や中小企業・小規模企業が疲弊しています。今の政府が進める大企業や都市部中心の政策から農林水産業や中小企業・小規模企業に光を当てる政策に転換します!

### 社会保障制度の再構築。

地域の少子高齢化に対応するための医療と介護制度を充実させ、若者に対する社会保障を確かなものにします。

### 安心して働ける社会をつくりま。

誰もが安心して社会づくりに取り組みます。また、企業や研究機関の誘致など地域の雇用拡大に努めます。

### 資源エネルギー政策を充実させます。

海洋国家である日本の「海のエネルギー資源」の確保・開発を加速させます。また、グリーンエネルギー社会を目指し、原発に依存しない社会を目指します!

### 伊勢志摩・東紀州の課題を解決します。

防災・減災の観点からの地域づくりを行います。また地域資源の活用などを通じた地域振興策の強化を図り、伊勢志摩・東紀州を活性化させます。

### 地方分権を推進し、地方再生を。

中央集権の流れを変え、自治・分権を推進します。地域でできることは地域で行う。それぞれの創意工夫で地域づくりができるよう取り組みます!



The Democratic Party of Japan  
公認 民主党

衆議院議員候補

本気の政治を。

#### ふじた大助 プロフィール

●1976年9月 度会郡玉城町に生まれる  
●2000年3月 法政大学経営学部卒業  
●2009年8月 第45回衆議院議員選挙にて当選  
◇2012年の総選挙で惜敗  
2年の時を経て再びチャレンジ!!

# ふじた大助

だいすけ 38歳

## 安倍暴走政治ストップ! 政治を変えたいと願う一票は

### 内藤こういちと日本共産党へ



日本共産党

# 内藤こういち

50歳

1964年四日市市生まれ。大同工業大学卒。1987年~97年民主商工会で働く。98年から日本共産党専従。2014年から党南部地区委員長

政策の詳細はホームページで

JCP 検索

5つの転換で国民の声が生かせる政治を

### ①消費税に頼らない別の道

富裕層と大企業に自分の負担を求める税制改革と、大企業の内部留保を活用して国民の所得を増やす経済改革で、消費税に頼らなくても社会保障充実、財政再建は可能です。

### ②格差拡大の「アベノミクス」ストップ

くらし第一で経済を立て直す労働者派遣法の改善。人間らしく働ける雇用のルールを確立。社会保障は切り捨てから充実へ。TPP撤退、農業と中小企業の振興を。年金受給額の引き下げ反対。

### ③「海外で戦争する国」づくりはノー

日本を「戦争する国」につくりかえる憲法違反の集団的自衛権の「閣議決定」は撤回を。具体化の作業は一切中止を。

### ④原発再稼働はストップ! 「原発ゼロ」の日本への転換を

「稼働原発ゼロ」で14カ月。原発なしでやっていけるという証明です。国民世論と運動に逆らう原発推進政治にNO!

### ⑤沖縄の新基地建設は中止を! 基地のない平和で豊かな沖縄を

### 企業・団体献金禁止、政党助成金の廃止を

日本共産党は、侵略戦争反対を貫き、平和と民主主義を守ってきた政党です。政党助成金も企業献金ももたらさない清潔な党で、国民の願いに本当に応えることができる政党です。日本共産党を伸ばして、一緒に政治を変えていきましょう。

比例代表は

# 日本共産党と

お書きください

## 消費税10%への増税は、先送りではなく、キッパリ中止を

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

# 第47回衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日は**12月14日(日)**

## 投票の方法

**小選挙区選挙** は **候補者氏名** を記入します。

**比例代表選挙** は **政党等名** を記入します。

**最高裁判所裁判官国民審査** は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に×を記入します。  
やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

**【期日前投票】 12月13日(土)まで**

※12月14日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、期日前投票をしましょう。

「日本の将来 創るのは あなたの一票」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



『いっぴよん』

三重県選挙管理委員会